

平成30年10月16日

報道関係者 各位

島原地域 ICT クラブ 第1回活動の開催について

標記のことについて、総務省「地域における IoT の学び実証事業」に採択された本市の ICT クラブの活動について、第1回目を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

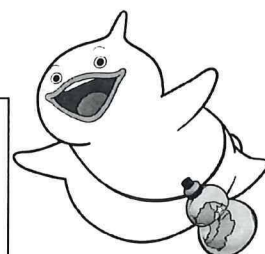
記

- 1 活動の名称 島原 ICT クラブ
※市内小学生を対象に、福岡工業大学が開発したロボット教材を使ってクラブ活動を行う
- 2 日 時 10月21日(日) 13:00～15:00
(2会場同時開催、活動は今回含め12月までに計5回を予定)
- 3 会 場 森岳公民館、霊丘公民館 (2カ所)
- 4 人 員 数 各会場小学生15名(1年生～6年生)
メンター(講師・島原ソフトウェア) 各会場2名
サポーター(福岡工業大学、カボチャテレビ、島原市)
- 5 活動の内容(第1回)
第1回は、メンター、サポーターと一緒にロボット教材を組み立てる活動を行います。
- 6 そ の 他 事業概要について、総務省の事業採択時の報道資料を添付します。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市 政策企画課 メディア戦略班 担当 中村
電話：0957-62-8012(直通)
E-mail：joho@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

平成30年 6月29日

報道関係者 各位

総務省実証事業の採択について

標記の件について、総務省が公募していた実証事業に対し、本市及び関連団体が連携して事業提案を行っていましたが、そのことについて下記のとおり採択されましたのでお知らせします。

記

1 実証事業の名称 総務省 「地域における IoT の学び推進事業」 地域実証事業

2 本市における事業の名称

「ロボットがつなげる！ 未来の絆」

(副題：地域住民・企業・大学との協働によるロボット教材を用いた学び合い事業)

3 概 要

- ①地域に小学生を対象とした、休日に活動する「ICT クラブ」を2箇所設立
- ②福岡工業大学が制作したロボット教材を使って楽しく ICT・IoT(*末尾に用語説明)を学ぶ
- ③活動は9月～12月の間に5回程度実施予定、事業は単年度事業(H30 限り)
- ④福岡工業大学と以前から繋がりがある九州内の盲学校と本市小学生との交流も予定
- ⑤実施にあたり、以下の関係団体で協議会を設立し、活動を推進。
 - ・(代表団体) ケーブルテレビジョン島原 (代表取締役 清水 多聞)
 - ・島原市
 - ・福岡工業大学 (学長 下村 輝夫)
 - ・島原ソフトウェア (株) (代表取締役 吉岡 宏道)
 - ・CA Tech Kids (シーエーテックキッズ・東京：都市部を中心に有料プログラミング教室事業を展開。本市では (株) ケーブルテレビジョン島原と連携し、有料プログラミングを開講中。代表者 上野 朝大)
- ⑥本実証事業では、全国19団体が各地に多様な「ICT クラブ」を設立。設立・活動のノウハウ蓄積や、問題点の洗い出しなどを行い、最終的に総務省に報告書を提出する。
- ⑦総務省は、以上の活動を行うことで、年齢・性別・障害の有無・国籍・所得等に関わりなく豊かな人生を享受できる「インクルーシブ」な社会の実現を目指す。

- ⑧本市は、これまでスポーツ・文化活動が中心だったクラブ活動に加え、ICT 分野のクラブを設立することで、子どもたちを含む市民の ICT に関する関心・理解を高めるとともに、将来的には高齢者まで含めた多様な ICT/IoT 施策の展開を目指す。
- ⑨また、昨年から複数の分野で連携を検討していた都市部理工系大学である「福岡工業大学」との連携、市内の ICT 企業との連携を深め、子どもと大人・学生、企業と企業など本事業の中で様々な「未来の絆」を生み出していきたい。

4 採択の状況

- ①公募期間：平成30年4月10日～5月18日
- ②本事業の実施は今年度が初めて
- ③採択予定枠「全国で10団体程度」に対し、全国から本市を含む86提案が寄せられた
- ④86提案のうち、22提案が東京での「採択評価会」（6月19日）に参加し、プレゼンテーションを実施
- ⑤6月29日、19提案が採択決定
- ⑥総務省ウェブサイト URL：
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000114.html
※契約前であることから総務省ウェブサイトでは「採択候補」という表現になっていますが、今後採択の取り消し等はありません。

5 添付資料

- ・実施計画書 概要資料
- ・ロボット教材に関する資料
- ・協議会に関する資料

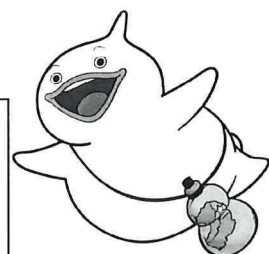
*用語「IT」「ICT」「IoT」について

- ・「IT」は、情報技術 Information Technology の略語。
 - ・総務省は、「IT」にコミュニケーション Communication を加えた「ICT」の用語を使っており、本事業でも「ICT」を使います。
 - ・「IoT」は、モノのインターネット Internet of Things の略語であり、様々なモノがインターネットに繋がり、様々な情報のやり取りが可能になることを指す。
- ※本市で用いる教材はインターネットに接続はできませんが、ICT・ロボット教材として認められているものです。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市 政策企画課 メディア戦略班 担当 中村
電話：0957-63-1111（内線 146）
E-mail：joho@city.shimabara.lg.jp

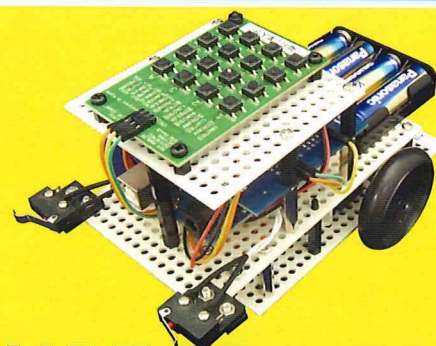
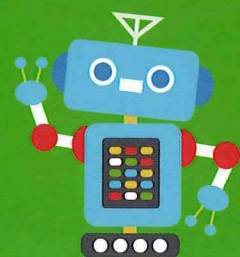


島原守護神 しまばらん

島原ICTクラブ 会員募集

参加
無料

コロボ スペシャル
プログラミングロボット < KOROBO SP > で
プログラミングを楽しく学ぼう。
パソコンを操作したことない人も歓迎 !!



KOROBO SP
コロボ スペシャル

コロボ かんたん
KOROBO は簡単にプログラミングが
学習できるロボット。プログラムを組
み立てて命令することで様々な動き
ができます。
本クラブで使用する KOROBO はパ
ソコンを使わずテンキー（数字のキー
ボード）だけでプログラミングできる
特別な一台。福岡工業大学がカス
タマイズしたロボットです。

島原ICTクラブ
しまばらあいしーとーいーくらぶ

TEL:0957-63-3456 カボチャテレビ内 ICT クラブ事務局まで
<https://shimabara.club>

島原 ICT クラブ

検索



島原地域 ICT クラブ推進協議会 この事業は以下の団体の協力のもとで運営されています。

島原市

FIT 福岡工業大学

島原ソフトウェア株式会社

CA Tech Kids

ケーブルテレビ Shimabara
株式会社 ケーブルテレビジョン島原